

令和5年度道路整備完成事例

杉安高鍋線 牛牧工区 (高鍋町)



杉安高鍋線は、西都市から高鍋町に至る延長約11.5kmの一般県道です。牛牧工区は、小・中学校の通学路に指定されていますが、幅員が狭く、車両と歩行者・自転車通行者との混在が見られ、危険な状態となっていたため、現道拡幅と併せて歩道の設置を進めてきました。牛牧工区の完成により、十分な幅員の車道と片側歩道が設置され、歩行者等の安全性の向上や交通の円滑化につながりました。



一般国道503号 宮之元工区 (諸塚村)



一般国道503号は、熊本県高森町から宮崎県日向市に至る延長約114kmの国道であり、五ヶ瀬町から諸塚村中心部へ通じる唯一の国道であるため、地域間交流などを支援する重要な路線です。しかし、幅員狭小であり通行に支障をきたしていることから、宮之元工区の整備により、狭隘区間の現道拡幅を進めてきました。宮之元工区の完成により、地域間交流はもとより、隣接する高千穂町や熊本県阿蘇地域からの観光客の周遊を図るなど、観光振興への効果も期待されます。



令和5年度道路整備完成事例

一般国道269号 栄町工区 (都城市)



一般国道269号は、鹿児島県指宿市から都城市を經由し、宮崎市を結ぶ重要な幹線道路です。また、当路線は緊急輸送道路の指定路線であるため、異常気象等による災害時においても道路機能を確保する必要があります。栄町工区は、都城市の中心市街地に位置し、周辺にはJR都城駅をはじめ、小売店舗や教育施設など様々な都市機能が集約しており、通勤通学による歩行者等が多い一方で、歩道の段差や幅員が狭いことにより、歩行しづらい状況にあったため、交通安全対策として無電柱化を進めてきました。栄町工区の完成により、歩行者等の安全が確保されるとともに、緊急輸送道路としての機能向上につながりました。



都市計画道路 中村木崎線 本郷工区 (宮崎市)



都市計画道路・中村木崎線(一般県道 中村木崎線の一部)は、宮崎市中心部から南部市街地を結ぶ、幹線道路です。本郷工区は、周辺学校の通学路として利用されているが、幅員の狭い片側歩道であり、大変危険な状態となっていたため、交通安全対策として街路整備を進めてきました。本郷工区の完成により、十分な幅員の両側歩道が設置され、通学児童を始めとした歩行者・自転車通行者の安全性の向上や、通行車輛の利便性・快適性の向上につながりました。

